

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

「食品工場におけるボイラーの更新による
CO2 削減事業」

排出削減事業者名:トース株式会社

排出削減事業共同実施者名:一般社団法人循環資源再生利用ネットワーク

その他関連事業者名:

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	トーアス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	トーアス株式会社 大崎事業所第2工場
住所	愛知県豊川市大崎町宮の坪58番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	一般社団法人循環資源再生利用ネットワーク
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

食品工場におけるボイラーの更新によるCO₂削減事業（A 重油→都市ガス）

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、食品工場におけるボイラー設備を高効率な設備に更新し、A 重油から低炭素燃料の都市ガスへエネルギー転換することによって、二酸化炭素削減を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラー3台（石川島汎用ボイラ株式会社 炉管ボイラー1台、貫流ボイラー2台）を高効率なボイラー4台（株式会社サムソン 小型ボイラー）に更新することでエネルギー使用量を削減してCO₂削減を図る。またA 重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない都市ガスへ燃料転換することによりCO₂削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

- ・特になし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012年1月9日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2014年12月1日 ～ 2017年1月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

※ 活動量は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、トーアス株式会社の大崎事業所第2工場におけるボイラー設備及び、供給設備とそこから蒸気の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
F _{fuel,I,PJ}	事業実施後の燃料使用量	Nm ³ /年	1,004,203	燃料計による計測を行い、m ³ →Nm ³ 換算*を行い、データに記録し保管する。	無し
HV _{fuel,i,PJ}	事業実施後の燃料の単位発熱量	MJ/ Nm ³	46.4 (2014年度) 46.0 (2015年度以降)	デフォルト値を利用	無し
ε _{BL}	事業実施前のボイラー効率 (炉筒ボイラー)	%	87.4	カタログ値をもとに算定	無し
	事業実施前のボイラー効率 (貫流ボイラー)		90.3		
ε _{PJ}	事業実施後のボイラー効率	%	88.2	カタログ値をもとに算定	無し
CF _{fuel,BL}	事業実施前の燃料の単位発熱量当たりの炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	デフォルト値に変更がないか確認	無し
CF _{fuel,i,PJ}	事業実施後の燃料の単位発熱量当たりの炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0517 (2014年度) 0.0521 (2015年度以降)	デフォルト値に変更がないか確認	無し

※モニタリング期間の愛知県（豊橋）の平均気温、中圧供給から標準状態へ換算する。

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2014 年度 (2014 年 12 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)			
120,581 (Nm3)	46.4 (MJ/Nm3)	0.0517 (tCO2/GJ)	289.2 (tCO2)
2015 年度 (2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)			
484,046 (Nm3)	46.0 (MJ/Nm3)	0.0521 (tCO2/GJ)	1,160.1 (tCO2)
2016 年度～ (2016 年 4 月 1 日～2017 年 1 月 31 日)			
399,576(Nm3)	46.0 (MJ/Nm3)	0.0521 (tCO2/GJ)	957.6 (tCO2)
EM _{PJ}			2,406.9 (tCO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
45,971.0(GJ)		0.0708(tCO2/GJ)	3,254.7 (tCO2)
EM _{BL}			3,254.7 (tCO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0 (tCO2)

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	削減量
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	3,254.7 (tCO2)
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	2,406.9 (tCO2)
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 (tCO2)
温室効果ガス排出削減量	ER	847 (tCO2)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (① - ②)

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2014年12月1日 ~ 2017年1月31日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			